

平成31年北海道森づくり研究成果発表会について

企画調整部普及グループ 主査（普及）渡邊 基

平成31年4月16日（火）、北海道立道民活動センター「かでの2・7」（札幌市）において、平成31年北海道森づくり研究成果発表会を開催しました。

この発表会は森林整備や木材利用に関する研究成果、地域での技術の普及や活動事例の紹介などを通じて、本道における森づくりや木材利用に関する知識を深め、技術の向上を図ることを目的として、道総研森林研究本部と北海道水産林務部との共催で毎年開催しています。

発表会では、口頭発表（発表：12分、質疑：3分）とポスター発表をそれぞれ行い、行政機関や国の研究機関からは、一般発表として口頭発表4課題、ポスター発表5課題の計9課題、森林研究本部（林業試験場・林産試験場）からは、3つのテーマ（①森林資源の循環利用のために～林業技術～、②森林資源の循環利用のために～木材利用技術～、③森の役割と森からの恵み）に沿って口頭発表12課題、ポスター発表16課題の計28課題、全体としては37課題の発表を行いました。

ポスター発表会場では、各発表に関連して、研究で活用しているドローンの実物展示、道産カラマツ・トドマツCLTを用いたCLT性能評価実験棟「Hokkaido CLT Pavilion」の模型、ダケカンバを利用した野球バット試作品等を展示、ポスター発表会場で行った2回（12:45～13:25、15:40～16:20）の「コアタイム」では、これらの展示品やパソコンの動画等も参考にしながら、発表者と来場者による熱心な意見交換も随所で行われていました。また、全道で活躍する森林所有者や林業普及活動を紹介する写真展も同時に開催しました。

当日は個人を含め、林業・木材産業関連企業や団体、行政機関等を含めて500名を超える方々にご来場いただき、多くのご質問や貴重なご意見をいただくなど、研究成果に対する関心と実用化に向けた期待の高さを感じることができました。

本号では、当日の発表のうち、林業試験場の口頭とポスター発表の全11課題をポスター形式で紹介しますので、ぜひご一読ください。



口頭発表の様子（かでのホール）



ポスター発表会場での意見交換（展示ホール）



林業普及写真展の様子（展示ホール）